



がくねんまつこうさ む 学年末考査に向けて

いよいよ二学年の学年末考査が近づいてきました。日程は3月1日(火)～3月4日(金)の4日間です。学年末考査は、皆さんのこの一年の集大成でもあります。毎回の授業にきちんと集中して取り組み、日々の努力や考査前の勉強を頑張ってきた人は、変わらずにその努力を継続してください。

一方、なかなかやるべきことに取り組むことができていない人は、今一度自分の学習態度を振り返ってみましょう。**ここで頑張れるかどうか、卒業に大きく響きます。**ここで努力ができずに、いつ努力をするのでしょうか。**失敗を恐れずにめいっぱい学業に打ち込むことができるのは、この高校生活の間だけです。そして、その成績は進路に直結します。**ここで手を抜かず、最大限の努力と結果を出し切って三学年に進級してほしいと思います。

ていしゅつぶつ かだい 提出物などの課題について

皆さんの中に、今未提出の課題を抱えている人はいませんか？もちろんこれから提出するものもあると思いますが、提出日の締め切りをもう過ぎているのに、まだ提出していない人はいませんか？皆さんの成績は出席状況・試験の点数など様々な点で評価されていますが、**提出物を出しているかどうかは最も基本的で重要なことです。**社会に出ると仕事には必ず締め切りがついてきます。その締め切りを守ることができないと、自分の勤め先だけではなく相手の企業などにも多大な迷惑・損失を与えます。多くの人に影響が出て、最悪の場合解雇されてしまうこともあり得ます。**提出物を締め切りまでに仕上げ、提出することは、「その人が責任を持って約束を守ることができるか」という信頼感の有無の判断材料になります。**レポートや報告書、ためていませんか？それが自分自身の信頼度を下げることにつながっていると、気付いていますか？「まあ少しくらいいや」という自分の甘い考えが卒業に大きく影響していることを、理解していますか？今一度自分の状況を振り返り、提出物は全て提出するようにしましょう。これから皆さんは三学年になり卒業に向けた進路を決定していく時期に入ります。二学年の段階で、全ての科目を全履修・全修得してください。皆さんの頑張りに期待しています。

コロナ感染症予防について

現在東京都ではまん延防止等重点措置が出ており、感染者は一定数出続けています。依然として注意しなければなりません。油断は禁物です。ここで気を緩めてはいけません。引き続き新型コロナウイルス感染症予防対策を行なってください。以下、注意点です。

- ◎手洗い・マスク着用・毎日検温する。
 - ◎「3つの密」を避けて行動する。
 - ◎公共交通機関は混んでいる時間を避けて利用し、マスクを着用する。
 - ◎規則正しい生活を送る。睡眠をしっかりとる。適度な運動、バランスの良い食事を心がける。
 - ◎体調不良でPCR検査を受けた時や、濃厚接触者になった場合はすぐに学校に連絡すること。
- など

校外学習に向けて

さて、いよいよ校外学習が近づいてきました！

- ◎日時：令和4年3月9日（水）
- ◎行き先：東京駅（詳細な集合場所、時間につきましては、追ってお知らせいたします）
→江戸東京博物館
- ◎行程：東京駅集合→江戸東京博物館→解散

今回は修学旅行における班別自主研修の事前練習を兼ね、班別に東京駅に集合した後江戸東京博物館を班ごとに見学します。なかなか学校外での行事がない中、今回は集団行動を学ぶ大変貴重な機会だと思えます。

以下、皆さんに注意してほしい点・覚えていてほしい点を挙げます。

①**服装、行動について**：今回学校の外に出て公共交通機関を利用します。常に他の利用者の方々から見られていることを意識してください。だらしのない服装や周囲に迷惑となるような行動は慎みましょう。

②**班員と協力して行動する**：今回は修学旅行での判別行動の練習でもあります。勝手に一人で周囲の迷惑となるような行動を取らず、何かあれば上手くコミュニケーションを取り合ってください。なかなか学校内で行事ができない中、普段教室では見ることのできない仲間の良いところを発見できると良いですね。

③**校外「学習」の意味を理解する**：校外学習とは、学校では見たり聞いたりできないようなことを校外にて体験し学習することです。今回皆さんが行く「江戸東京博物館」は、大きな展示室を活かした豊富な展示物により、江戸東京の都市と文化、そこに暮らす人々の生活を楽しみながら学ぶことができる場所です。自分

たちの生活する場所である東京には、まだまだ多くの魅力があります。「知らなかった」ことを「知る」にすることに学びの面白さの原点があります。ぜひ自分から様々なことに興味を持ち学ぼうとする姿勢を持ってください。

今だからこそできること

皆さんが入学してから今まで、依然として新型コロナウイルスの状況は変わらず、学校行事や部活動がつぶれてしまったり思うようにいかないことがたくさんあったと思います。私たちも何とかして皆さんに多くの経験を積んでほしいと思い、日々行動していますが、皆さんの気持ちに寄り添う中でやはりもどかしい思いをしています。

ヘレン・ケラーの言葉に、このような言葉があります。

「もしもこの世が喜びばかりなら、人は決して勇氣と忍耐を学ばないでしょう。」

ヘレン・ケラーはアメリカの教育家であり、社会福祉活動家です。彼女は1歳半の時に高熱により髄膜炎にかかり、懸命な治療により一命をとりとめたものの、聴力と視力を失い、話すことさえできなくなりました。両親も躰に困り、アン・サリヴァンが家庭教師として派遣されます。手づかみで食べ物を食べようとし暴れるヘレンと、スプーンを持って食べることを教えようとしたサリヴァンの格闘は有名な話ですが、我慢強いサリヴァンの指導と好奇心旺盛なヘレンは、二人三脚でできることを増やしていき、最終的には名門大学に合格します。その後もヘレンは社会貢献活動をし、日本には三回も来日しました。

今、皆さんは今までできていたことができなくなったり、やりたいことができないという葛藤の中にいると思います。しかし、今の時だからこそ、皆さんは「今の状況でもできることを探す力」「人とのつながりを大切にする力」「困難の中でも最善の時を待つ忍耐力」など、人生において大切であり尊いことを学んでいると思います。明けない夜はないですし、必ず春はやって来ます。皆さんが人を思いやり、思慮深く、粘り強く物事に取り組み続けければ、きっと結果が出る日が来ると思います。まずは今できることに全力で取り組みましょう。読書、映画鑑賞、資格の勉強、家事の手伝い、何でも良いです。一生懸命な皆さんを、私たちは全力でサポートします。

今を乗り越えた時、皆さんは誰よりも「勇氣」と「忍耐」、「思いやり」がある素敵な人になっているはずで、三年生に向けて、学校行事や勉学を少しでも多く皆さんに経験してもらえよう、私たちも考えていきます。

《皆の良いところ発見日記☺》

A組……授業後に積極的に質問にきたり、自分の意見、好きなものを積極的に教えてくれる姿が見られます。廊下で会うと遠くからいつも元気に挨拶してくれる姿も、見るたびにとても気持ちが良いです。

B組……授業内で元気に反応してくれました。自分の考えがそれぞれきちんとあり、活発な意見交換ができました。休み時間も元気ですね。相乗効果で互いに良い方向へ向かう力があるので、今後も期待！

C組……いつも元気に挨拶や発言をしてくれます。授業内で多くの発言をし、互いに学び合う姿勢もあります。面白いことには全員で反応する団結力もあります。個性豊かでエネルギーに満ちていますね。

D組……やるべきことにクラス全員がきちんと取り組むことができます。学習意欲も高く、資格の取得に励むなど後輩達の手本となるような姿も見られます。他クラスの生徒と仲良くする姿も良いですね。

E組……次第に個性を発揮し明るく話をする姿が見られるようになりました。仲間の誕生日を祝ったり、班づくりも和やかに話し合いながら進めたりなど、誰かのための主体的な行動ができています。

F組……長期就業訓練など責任ある仕事を全員できちんと乗り越えることができました。外部の人と接する機会が多い中、社会性を身に付けています。礼儀正しく挨拶してくれる人が多いことは、立派です！

